

## 平成25年度 国立大学法人福岡教育大学 年度計画

大学の教育研究等の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置

### 1 教育に関する目標を達成するための措置

#### (1) 教育内容及び教育の成果等に関する目標を達成するための措置

- 1) - 修士課程、専門職学位課程のカリキュラム・ポリシー及びディプロマ・ポリシーを策定する。
- 1) - アドミッション・ポリシーを点検するとともに、入学生の志望動機などの調査を実施する。
- 1) - - 1 平成24年度に策定した初年次教育の改善案を実施し、検証する。
- 1) - - 2 平成24年度に策定した教養教育の改善案を実施し、検証する。
- 1) - - 1 平成24年度までに策定した教育実習改善案に基づき、教育実習を実施し、検証する。
- 1) - - 2 平成24年度に確立した指導体制の下で、教職実践演習を実施する。
- 1) - - 3 実習プログラムの中に位置づけた「教育総合インターンシップ実習」の内容を策定する。
- 1) - 見直しを行ったキャリア教育科目について実施し、検証する。
- 1) - ボランティア支援体制を充実するとともに、学生ボランティア支援システム(VSS)の活用について検証し、改善する。
- 2) - 進級制度の運用第2年目の結果を総括するとともに、GPA制度について点検する。
- 2) - 成績評価に関する改善の状況を確認するため、組織的な事後チェックシステムを開発する。また、平成24年度に導入したポートフォリオシステムを検証する。
- 2) - 改訂されたカリキュラム及び教育内容・方法・実施体制について検証する。

#### (2) 教育の実施体制等に関する目標を達成するための措置

- 1) - 学内で実施している学生を対象とした教学に関するアンケート調査等の実施状況について検証する。
- 1) - 教育委員会等の意見・要望を教職課程の改善につなげる体制について検証する。

- 1) - 授業改善に結びつけるための授業評価等のPDCAサイクルを点検し、これまで行ったFD活動の改善について検証する。
- 1) - 平成24年度に統合したセンター等における教育支援・学習支援機能の充実について検証する。

### (3) 学生への支援に関する目標を達成するための措置

- 1) - 学生のニーズを取り入れながら、修学・生活・就職等の支援を行う体制及び取組みについて検証する。
- 1) - 引き続き、就職率・教員採用率を向上させるため、キャリア支援センターの支援業務及び全学的支援体制の一層の充実を図る。
- 1) - 学生の心身のケアやハラスメント防止等のための体制を検証する。

## 2 研究に関する目標を達成するための措置

### (1) 研究水準及び研究の成果等に関する目標を達成するための措置

- 1) - 教育を中心とする現代的諸問題の解決を指向する研究プロジェクトを継続・発展させ、成果を公表する。
- 1) - - 1 教育を中心とする現代的諸問題の解決を指向する研究プロジェクトを継続・発展させ、地域の教育委員会及び公立学校との連携研究をより一層充実させる。
- 1) - - 2 引き続き、連携研究の成果を公開し、社会に還元する。

### (2) 研究実施体制等に関する目標を達成するための措置

- 1) - 引き続き、本学の教育研究の特色を踏まえ、今後の外部資金申請につながる各種教育研究プロジェクトの公募から成果発表までのプロセスを点検し、必要に応じて改善する。
- 1) - 大学と附属学校との連携協力体制の更なる充実を図る。
- 1) - - 1 平成24年度に改善したサバティカル制度の運用等について検証する。
- 1) - - 2 若手・女性教員を支援する体制を充実させる。
- 1) - 平成24年度に統合したセンター等において、研究基盤の充実につながる環境が整備されているか検証する。
- 1) - - 1 引き続き、各種教育研究プロジェクトの成果を効果的に発信・公開し、必要に応じて改善する。

- 1) - - 2 大学院の学生の研究発表機会の拡充のための支援策を検証し、必要に応じて改善する。

### 3 その他の目標を達成するための措置

#### ( 1 ) 社会との連携や社会貢献に関する目標を達成するための措置

- 1) - 平成 2 4 年度に改善した人材バンク事業等の利用促進を図るとともに、本学と福岡県内の教育界及び宗像地区等の地域社会との連携協力関係を拡充する。
- 1) - - 1 昨年度に引き続き、教職大学院の新カリキュラムの教育効果等を検証する。
- 1) - - 2 平成 2 5 年度教員免許状更新講習開設計画を基に講習を実施し、次年度に向けて、必要に応じて改善する。
- 1) - - 3 附属学校を利用した現職教員の再教育の改善・充実策を実施し、検証する。
- 1) - - 4 大学院の授業・研究内容等を題材とした現職教員のためのセミナーを企画立案する。
- 1) - 平成 2 4 年度までに実施した連携事業を検証し、引き続き、教育現場のニーズや地域の学習需要に応える公開講座や研修会等を企画・実施する。また、宗像地区教育委員会及び小・中学校等との連携事業を実施する。

#### ( 2 ) 国際化に関する目標を達成するための措置

- 1) - 派遣留学生や海外からの留学生の受入れを促進するために、国際交流体制を整備する。
- 1) - 平成 2 4 年度の改善案に基づき、受入留学生のための支援を充実させる。また、派遣留学生の海外留学促進のための環境整備を行う。

#### ( 3 ) 附属学校に関する目標を達成するための措置

- 1) - 引き続き、大学と連携して、重点的な研究課題を設定して、授業づくり研究会、公開研究会及び研究発表会を開催し、その成果を公表する。
- 1) - - 1 引き続き、教育学部・附属学校の共同研究を推進し、大学と附属学校との連携協力体制を活用した組織的研究を促進する。
- 1) - - 2 各地区附属学校ごとに立ち上げた地域の教育委員会等との連携体制を検証する。
- 1) - - 1 新カリキュラムに基づく教育実習を先行実施し、その内容・方法等について検証する。

- 1) - 2 引き続き、附属学校における長期派遣受入研修制度の指導体制の充実を図るとともに検証を行う。
- 1) - 各地区附属学校地域連絡協議会を開催するとともに、確立した体制について検証する。

業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためにとるべき措置

1 組織運営の改善に関する目標を達成するための措置

- 1) - 引き続き、大学運営方針を具体化するためのアクションプランを作成し、実行する。
- 1) - 平成24年度に策定した運営組織の改善方針に基づき、運営組織の改善を行う。
- 1) - 各種監査における指摘事項について、役員会の管理の下に担当部署が改善方策を策定・実施する等により自己改善サイクルを確立する。
- 1) - 経営協議会の外部有識者からの指摘事項や外部評価委員会の評価結果を踏まえて、大学運営の改善サイクルを確立する。
- 2) - 平成25年度教員定員管理方針及び平成25年度教員定員運用方針に基づき、適切な人員配置を行う。
- 2) - 引き続き、育児・介護支援及びワーク・ライフ・バランスを推進する。
- 2) - 引き続き、「事務系職員研修基本方針」及び「事務系職員研修基本計画」に基づき、平成25年度研修計画を策定し、実施する。

2 事務等の効率化・合理化に関する目標を達成するための措置

- 1) - 引き続き、事務組織の点検・確認を行う。
- 1) - これまでの「業務改革推進のためのアクションプログラム」の検証結果を踏まえて平成25年度のプログラムを作成し、更なる業務の簡素化及び効率化を進める。

財務内容の改善に関する目標を達成するためにとるべき措置

1 外部研究資金、寄附金その他の自己収入の増加に関する目標を達成するための措置

- 1) - 引き続き、科研費等の獲得に向けた支援を実施する。

2 経費の抑制に関する目標を達成するための措置

(1) 人件費の削減に関する目標を達成するための措置

1) - 計画なし。

( 2 ) 人件費以外の経費の削減に関する目標を達成するための措置

1) - 引き続き、省エネルギー対策などを一層推進することにより経費の削減に努める。

1) - 引き続き、財務情報に基づき、財務分析を実施するとともに、財務内容の改善方策を検討する。

3 資産の運用管理の改善に関する目標を達成するための措置

1) - 講義室等の有効活用のための計画を策定し、実施する。

自己点検・評価及び当該状況に係る情報の提供に関する目標を達成するためにとるべき措置

1 評価の充実に関する目標を達成するための措置

1) - 計画なし。

1) - 引き続き、評価情報の精選及び評価手順の簡素化を図る。

1) - 引き続き、教員活動評価の実施内容について検証し、必要に応じて改善する。

2 情報公開や情報発信等の推進に関する目標を達成するための措置

1) - - 1 引き続き、積極的な情報公開及び広報活動を行う。

1) - - 2 平成24年度までに改善したホームページに関する検証結果に基づき、改善する。

1) - 情報基盤整備計画に基づき、本学の研究者情報を積極的に提供する。

その他業務運営に関する重要目標を達成するためにとるべき措置

1 施設設備の整備・活用等に関する目標を達成するための措置

1) - 大学全体の情報セキュリティ対策を充実させる。

2) - 引き続き、キャンパスのバリアフリー化やアメニティの向上を計画的に実施する。

2 安全管理に関する目標を達成するための措置

1) - 引き続き、総合的な危機管理体制の下に安全管理・教育を推進する。

1) - 引き続き、過労防止対策を推進し、メンタルヘルスの維持・向上のため

の方策を実施する。

- 1) - 附属学校の施設設備について、継続して定期的な安全点検を行うとともに、登下校時の安全確保の体制を確立し、改善した安全教育プログラムを実施する。

### 3 法令遵守に関する目標を達成するための措置

- 1) - コンプライアンスに関する研修・啓発活動の取組みについて検証し、改善する。

予算（人件費の見積りを含む。）、収支計画及び資金計画  
別紙参照

#### 短期借入金の限度額

##### 1．短期借入金の限度額

10 億円

##### 2．想定される理由

運営費交付金の受入れ遅延及び事故の発生等により緊急に必要となる対策費として借り入れすることが想定されるため。

#### 重要な財産を譲渡し、又は担保に供する計画

##### ○ 重要な財産を譲渡し、又は担保に供する計画

##### 1．重要な財産を譲渡する計画

附属小倉小中学校の土地の一部（福岡県北九州市小倉北区下富野三丁目 1050 番 5 号 392.00 m<sup>2</sup>）を譲渡する。

##### 2．重要な財産を担保に供する計画

該当無し。

#### 剰余金の使途

- 決算において剰余金が発生した場合は、教育研究の質の向上及び組織運営の改善に充てる。

#### その他

##### 1．施設・設備に関する計画

（単位 百万円）

施設・設備の内容	予定	財源
・ 附属幼稚園の園舎 改築及び改修	総額 1,267	施設整備費補助金（175）
・ 図書館・教育・心 理教棟改修		施設整備費補助金（735）

・ 給水設備等ライ フライン再生	施設整備費補助金（ 82 ）
・ 理科教育支援シス テムの整備	施設整備費補助金（ 74 ）
・ 図書館書架整備	施設整備費補助金（ 84 ）
・ 25m水泳プールの 整備	施設整備費補助金（ 90 ）
・ 小規模改修	国立大学財務・経営センター施設 費交付金（ 27 ）

注）金額は見込みであり、上記のほか、業務の実施状況等を勘案した施設・設備の整備や、老朽度合い等を勘案した施設・設備の改修等が追加されることもあり得る。

## 2. 人事に関する計画

- (1) 「定員管理方針」に基づき適切な人員配置を行うとともに、引き続き、育児・介護支援及びワーク・ライフ・バランスを推進する。
- (2) 大学教員については、次の取組を行う。
  - ・平成24年度に改善したサバティカル制度の運用等について検証する。
  - ・若手・女性教員を支援する体制を充実させる。
- (3) 事務職員については、次の取組を行う。
  - ・引き続き、「事務系職員研修基本方針」及び「事務系職員研修基本計画」に基づき、平成25年度研修計画を策定し、実施する。

(参考1) 平成25年度の常勤職員数 430人  
また、任期付職員数の見込みを 6人とする。

(参考2) 平成25年度の人件費総額見込み 3,760百万円  
(退職手当は除く)

(別紙)

- 予算（人件費の見積りを含む。）、収支計画及び資金計画

(別表)

- 学部の学科、研究科の専攻等の名称と学生収容定員、附属学校の収容定員・学級数

(別紙)予算, 収支計画及び資金計画

1. 予算

## 平成25年度 予算

(単位:百万円)

区分	金額
<b>収入</b>	
運営費交付金	3,224
施設整備費補助金	1,240
補助金等収入	0
国立大学財務・経営センター施設費交付金	27
自己収入	1,824
授業料, 入学金及び検定料収入	1,746
財産処分収入	0
雑収入	78
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	81
長期借入金収入	0
目的積立金取崩	0
<b>計</b>	<b>6,396</b>
<b>支出</b>	
業務費	5,048
教育研究経費	5,048
施設整備費	1,267
補助金等	0
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	81
<b>計</b>	<b>6,396</b>

[人件費の見積もり]

期間中総額3,760百万円を支出する。(退職手当は除く)

注)「施設整備費補助金」のうち, 前年度からの繰越額1,240百万円



## 2. 収支計画

## 平成25年度 収支計画

(単位:百万円)

区分	金額
<b>費用の部</b>	5,243
經常費用	5,243
業務費	4,812
教育研究経費	771
受託研究経費等	24
役員人件費	61
教員人件費	3,005
職員人件費	951
一般管理費	272
財務費用	1
雑損	0
減価償却費	158
臨時損失	0
<b>収入の部</b>	5,243
經常収益	5,243
運営費交付金収益	3,102
授業料収益	1,592
入学金収益	220
検定料収益	61
補助金等収益	0
受託研究等収益	24
寄附金収益	42
施設費収益	24
財務収益	0
雑益	91
資産見返運営費交付金等戻入	58
資産見返補助金等戻入	9
資産見返寄附金戻入	20
資産見返物品受贈額戻入	0
臨時利益	0
純利益	0
目的積立金取崩益	0
総利益	0

## 3. 資金計画

## 平成25年度 資金計画

(単位:百万円)

区分	金額
<b>資金支出</b>	7,079
業務活動による支出	4,918
投資活動による支出	1,407
財務活動による支出	71
翌年度への繰越金	683
<b>資金収入</b>	7,079
業務活動による収入	5,095
運営費交付金による収入	3,189
授業料・入学金及び検定料による収入	1,746
受託研究等収入	38
補助金等収入	0
寄附金収入	44
その他の収入	78
投資活動による収入	1,267
施設費による収入	1,267
その他の収入	0
財務活動による収入	0
前年度よりの繰越金	717

別表（学部の学科、研究科の専攻等）

教育学部	初等教育教員養成課程 1,231人 （うち教員養成に係る分野 1,231人） 中等教育教員養成課程 537人 （うち教員養成に係る分野 537人） 特別支援教育教員養成課程 200人 （うち教員養成に係る分野 200人） 共生社会教育課程 220人 環境教育課程 140人 芸術課程 192人
教育学研究科	教育科学専攻 160人 （うち修士課程 160人） 教職実践専攻 40人 （うち専門職学位課程 40人）
特別支援教育特別専攻科	特別支援教育専攻 30人
附属福岡小学校	460人 学級数 12
帰国子女教育学級	45人 学級数 3
特別支援学級	24人 学級数 3
附属小倉小学校	460人 学級数 13
附属久留米小学校	460人 学級数 12
附属福岡中学校	360人 学級数 9
特別支援学級	24人 学級数 3
附属小倉中学校	360人 学級数 9
附属久留米中学校	360人 学級数 9
附属幼稚園	90人 学級数 3